

2013 年度経済学史定期試験問題

下記の文章が正しければ(1)を、間違っていれば(0)をマークして下さい。各 2 点 ×50。

1. スミスは、自由貿易すれば国際競争力が高まって貿易収支が増えて経済発展するとみなした。×
2. リカードは、自由貿易すれば総需要が伸びて経済が成長するとみなした。×
3. スミスは、自国内にマネーが入ってくることが自国の国益であるとみなした。×
4. マルクスは、不公正な不等価交換から利潤の発生を論拠づけた。×
5. スミスは、商品の交換価値は労働で決まるとみなした。○
6. リカードは、イギリスの産業はだいたいどれも他国よりも生産性が高いので、自由貿易がイギリスの国益になると考えて自由貿易を主張した。×
7. ワルラスは、相対価格は(今日でいうところの)限界効用の比に等しいとみなした。○
8. スミスは、分業が進むと労働生産性が上昇するとみなした。○
9. リカードは、資本蓄積が進むと土地収穫逓減から地代が上昇し利潤率が低下するとみなした。○
10. メンガーは、経済学は厳密科学を目指さなければならないとした。○
11. リカードは、貨幣は流通の仲立ちにすぎないため实体经济に影響せず、財の総需要は総供給に必ず等しくなるとみなした。○
12. マルクスは、貨幣の力が経済を左右するとみなす重商主義の見方を否定した。×
13. ワルラスは社会主義を提唱した。○
14. マーシャルは、限界効用価値説を唱え、均等な率の利潤を加えた単位生産費で価格が決まるとする古典派の見方を否定した。×
15. マルクスは、商品の価格はそれを再生産するために必要な労働で決まり、需要の過不足には影響されないと考えた。×
16. リカードは、スミスの価値構成説を批判し、発達した近代社会でも、価格は投下労働価値に比例するのだとみなした。×
17. リカードは、穀物の貿易を自由化しても、イギリスの農業の生産性が上昇し、

農産物が輸出できるようになるとみなして貿易自由化に賛成した。×

18. リカードは、すべての国の国民が、国際分業することで享受できる財が増えるとして、自由貿易を提唱した。○

19. ジェボンズは、商品の価格は、その商品の消費から得られる最大限の効用に比例して決まるとみなした。×

20. ワルラス法則とは、財の総需要が必ず総供給と等しくなるとする法則である。×

21. リカードの比較生産費原理からの自由貿易論は、二国が互いに相手よりも生産性が優秀な財に特化して交換しあえば、互いにトクをするというものである。×

22. ジェボンズは、微分を使った効用最大化の手法を導入し、商品の価値が、投下労働や単位費用ではなく、主観的な効用に基づくことを主張した。○

23. スミスは、一国の富は、有用な生産物(消費財)の量で決まるとみなした。○

24. リカードは、穀物の輸入を自由化しないと、賃金と地代が高くなって経済成長が停滞するという理由から、自由貿易を提唱した。○

25. スミスは、個々人の利己心を追う競争によって、努力をした者が豊かになり、怠けた者が貧しくなるようにすれば、みなが勤勉になって国が豊かになるとみなした。×

26. リカードは、国際競争にさらされることによって、生産性の上昇や新製品開拓が行われるようになるからという理由で自由貿易に賛成した。×

27. マルクスは、資本主義経済の発展は、世界を普遍化し、長い目で見た平均としては均衡的な生産配分をもたらしてきたとみなした。○

28. スミスは、政府の介入をなくして、競争で生産性が上がるようにすれば、貿易黒字が増えるので国が豊かになるとみなした。×

29. リカードは、あらゆる産業で他国より生産性が劣っている国も、自由貿易にすれば、生産性を上げずとも利益を得るとみなした。○

30. スミスは、世の中の圧倒的多数である労働者が貧しい社会がいい社会のほうはないとして、賃上げのための労働運動を政府が禁圧するのは間違っていると主張した。○

31. マルクスは、資本主義社会の不正な構造の基本は、強者が弱者を食い物にするモデルで説明でき、利潤とは、売り手が買い手の足下を見て価格をつり上げることから生じるとみなした。×

32. セイ法則とは、「諸財の超過需要の和は恒等的にゼロ」ということである。
○
33. マルクスはセイ法則を前提した理論モデルを使っていない。×
34. メンガーは、商品の交換割合は、その商品の消費から1単位あたり平均に得られる効用に比例するとみなした。×
35. リカードは、穀物の価値は、その穀物を生産するために社会的に平均して投入される労働によって規定されるとみなした。×
36. マーシャルは、資本主義企業は永遠の形態ではなく、将来的には、協同組合に進化していくべきであると主張した。○
37. リカードは、貿易が活発になるとおカネがよく回り、経済が活性化するという理由から、自由貿易を提唱した。×
38. マーシャルは、市場均衡は社会全体の効用を最大にするとみなした。×
39. マルクスは、「財産は盗みだ」と言ったプルードンを批判した。○
40. ワルラスは、「財産は盗みだ」と言ったプルードンを批判した。○
41. リカードは、穀物を輸入するようになったら、外国が穀物を売らなくなったらどうするのかという批判に対して、すぐに国内耕作を再開して自給できるようになるから大丈夫だと答えた。×
42. リカードは、穀物を輸入するようになったら、外国が穀物を売らなくなったらどうするのかという批判に対して、ナポレオンほどの大権力者でもイギリスへの穀物輸出を止められなかったのではないかと答えた。○
43. マルサスは、労働者は貧しくて資本家はケチなので、地主が消費しないと需要不足になってしまうと考えた。○
44. メンガーは、方法論論争において、時代や国にかかわらない一般法則を探求するのが科学だと主張した。○
45. リカードは、自由貿易にしないと、資本蓄積が進むごとに、それに比べて市場が狭くなって、やがて総需要不足から利潤が低下して成長がストップしていくとして、自由貿易を提唱した。×
46. マルクスは、資本家の利潤に課税して労働者に再分配して、所得格差をなくすことを目指した。×
47. メンガーは、方法論論争において、時代や国にかかわらない一般法則など経済にはないと主張した。×
48. ワルラスは、資本主義経済の市場は自由放任すれば一般均衡が実現するとみ

なした。×

49. メンガーは、価格は労働投入ではなく需要者側の主観的要因で決まるとみなした。○

50. ドイツ歴史学派は、自由貿易では先進国が後進国の犠牲で利益を得るとして、保護貿易を提唱した。○

経済学史追試験問題

I 「経済学的発想」と「反経済学的発想」について概説し、経済学史上見られた両者の論争について、三例以上あげて解説せよ。

II 講義で取り上げた経済学者のうち、自分が気に入った者を一人あげ、その学説を解説する中で、「市場メカニズム評価」「経済学的発想 vs 反経済学的発想」「創始者か総合者か」の三軸で位置づけて、自分が気に入った理由を展開せよ。